

平成30年度第2回まちづくり活動支援交付金審査委員会議事録(概要)

○事務局

お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。定刻になりましたのでただ今から、平成30年度、第2回米子市まちづくり活動支援交付金審査委員会を開会いたします。

○事務局

今日の会議ですけど、委員定数8名のうち6名の審査委員が出席されていますので、米子市まちづくり活動支援交付金交付要綱第16条第3項の規定により、本会が成立することをご報告します。ただいまから、平成30年度第2回米子市まちづくり活動支援交付金審査委員会を開会します。

○事務局

本日の日程ですが、平成29年度に交付金を受けられた団体から事業の報告を、1団体あたり5分程度していただきます。それから、団体と委員さんとの意見交換を4時まで行ないたいと思います。意見交換会が終わりましたら、5分間休憩をはさみまして、平成26年度交付団体の事後調査についてご協議をお願いしたいと思います。そういたしますと、これからの進行の方を委員長にお願いします。

○委員長（議長）

あいさつ

情報交換、意見交換会

◎彼岸花の里づくりプロジェクト実行委員会

彼岸花の里づくりプロジェクト事業について報告。（資料参照）

◎特定非営利活動法人 発達障がい児親の会 CHERRY

発達障がい児の親子サポート事業について報告。（資料参照）

◎米子福生風の会

第10回米子福生東大凧揚げ大会及び10周年記念事業について報告。（資料参照）

報告会終了

◎情報、意見交換について

○委員

米子福生風の会さんは、台風の影響による悪天候等によって、記念大会の開催が何度も延期になり、苦労されたと思いますが、無事に記念大会を開催できて良かったと思います。

○申請団体（米子福生風の会）

無事に開催することができ、安心しました。これからも20回、30回と記念大会を開催することができるよう頑張ります。次世代にきちんと受け継がれていくことができれば、こんなに嬉しいことはありません。

○申請団体（彼岸花の里づくりプロジェクト実行委員会）

次年度以降も事業を継続していくためには、財源の確保等、様々な課題があります。今後も関係団体等と協力しながら、次年度以降も充実した事業となるように活動を継続していきます。

○委員

とても意義深い活動をしておられると思います。今までの活動によってできてきた賑わいを絶やすことなく、活動をより一層良いものにしていかれることを期待しています。

○委員

発達障がい児親の会 CHERRY さんは、今回の事業が有意義なものになったと実感しておられますが、相当な手応えがあったということでしょうか。

○申請団体（発達障がい児親の会 CHERRY）

会員を増やすこともできましたし、ニーズのあるところにきちんと情報を届けられたということが、事業を実施してみて良かったところです。今後は、昨年取得した資格を活かしながら、新しい企画を実施し、さらに充実した活動になるように私たちも成長していきたいと思っています。

※5分間休憩

◎平成26年度事業実施団体事後調査について説明

それでは、第2回審査委員会を終わりたいと思います。大変お疲れ様でした、ありがとうございました。